

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月13日

上場会社名 テイカ株式会社  
 コード番号 4027 URL <http://www.tavca.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 學  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 (氏名) 杉江 一彦  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東大

TEL 06-6208-6404

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	8,824	—	536	—	590	—	357	—
20年3月期第1四半期	8,201	11.0	727	49.4	771	41.5	474	44.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	7.13	—
20年3月期第1四半期	9.46	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	40,850	23,250	23,250	56.7	56.7	462.44
20年3月期	39,664	22,770	22,770	57.2	57.2	452.57

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 23,181百万円 20年3月期 22,688百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	5.00	5.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	17,000	—	800	—	750	—	450	—	8.98
通期	35,000	7.0	1,400	△30.1	1,350	△33.6	800	△32.6	15.96

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 51,428,828株 20年3月期 51,428,828株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,299,068株 20年3月期 1,295,292株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 50,130,990株 20年3月期第1四半期 50,150,247株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 平成19年3月14日)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号 平成19年3月14日)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国の経済は、サブプライムローン問題に端を発した米国経済減速の顕在化や原油をはじめとする原燃料価格の一段の高騰などにより、景気は先行き不透明感が強い状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの当第1四半期の業績につきましては、引き続き機能性製品を中心に積極的な販売活動を展開いたしました結果、売上高は88億2千4百万円（前年同期比7.6%増）となりましたが、利益面では原燃料価格の高騰による採算悪化などの影響により、営業利益は5億3千6百万円（前年同期比26.2%減）、経常利益は5億9千万円（前年同期比23.5%減）、四半期純利益は3億5千7百万円（前年同期比24.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ資産合計は11億8千5百万円増加いたしました。増減の主なものは、流動資産におきましては、受取手形及び売掛金が8億5百万円増加、現金及び預金が5億1千5百万円減少、固定資産におきましては、投資その他の資産が7億9千2百万円増加いたしました。

負債合計は7億6百万円増加いたしました。増減の主なものは、流動負債におきましては、短期借入金が増加、固定負債におきましては、長期借入金が増加いたしました。

純資産合計は4億7千9百万円増加いたしました。増減の主なものは、その他有価証券評価差額金が4億8千万円増加いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期業績は、概ね計画通りに推移しており、第2四半期連結累計期間及び通期ともに、前回発表（平成20年5月15日）の業績予想からの変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。

また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

ただし、当第1四半期連結会計期間において新たな所有権移転外ファイナンス・リース取引が発生しなかったため、損益に与える影響はありません。

なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。

（追加情報）

①有形固定資産の耐用年数の変更

法人税法等の改正に伴い、法定耐用年数及び資産区分が見直されました。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、機械装置等の耐用年数の変更を行っております。

なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

②役員退職慰労金制度の廃止

当社は、役員退職慰労金制度を廃止したことに伴い、平成20年6月27日開催の定時株主総会において、制度廃止日（平成20年6月27日）までの在任期間に対応する役員退職慰労金を役員退任時に打ち切り支給することを決議いたしました。

これに伴い、同日までの在任期間に応じた役員退職慰労引当金は全額取崩し、打ち切り支給額の未払分202百万円を固定負債の「その他」に計上しております。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,119	3,634
受取手形及び売掛金	10,102	9,296
有価証券	26	26
商品及び製品	4,955	4,701
仕掛品	476	464
原材料及び貯蔵品	1,949	1,800
その他	312	524
流動資産合計	20,940	20,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,448	4,553
機械装置及び運搬具(純額)	6,269	6,561
その他(純額)	2,491	2,192
有形固定資産合計	13,210	13,307
無形固定資産		
	69	71
投資その他の資産		
投資有価証券	5,876	5,074
その他	775	785
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	6,629	5,836
固定資産合計	19,909	19,215
資産合計	40,850	39,664

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,617	4,717
短期借入金	3,379	2,475
未払法人税等	122	603
賞与引当金	168	320
その他の引当金	3	8
その他	2,964	2,333
流動負債合計	11,255	10,460
固定負債		
長期借入金	3,666	4,089
退職給付引当金	2,148	2,110
その他の引当金	3	217
その他	524	15
固定負債合計	6,343	6,432
負債合計	17,599	16,893
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,767	6,767
利益剰余金	5,027	4,920
自己株式	△419	△418
株主資本合計	21,230	21,125
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,948	1,467
為替換算調整勘定	2	96
評価・換算差額等合計	1,950	1,563
少数株主持分	68	82
純資産合計	23,250	22,770
負債純資産合計	40,850	39,664

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

売上高	8,824
売上原価	7,107
売上総利益	1,717
販売費及び一般管理費	1,180
営業利益	536
営業外収益	
受取利息	1
受取配当金	78
その他	35
営業外収益合計	115
営業外費用	
支払利息	39
その他	21
営業外費用合計	61
経常利益	590
特別損失	
固定資産除却損	20
特別損失合計	20
税金等調整前四半期純利益	569
法人税、住民税及び事業税	115
法人税等調整額	96
法人税等合計	211
少数株主利益	0
四半期純利益	357

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第1四半期連結累計期間  
(自 平成20年4月1日  
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	569
減価償却費	619
受取利息及び受取配当金	△79
支払利息	39
売上債権の増減額 (△は増加)	△805
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△413
仕入債務の増減額 (△は減少)	△99
その他	343
小計	173
利息及び配当金の受取額	79
利息の支払額	△38
法人税等の支払額	△596
営業活動によるキャッシュ・フロー	△382
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△278
投資有価証券の取得による支出	△4
その他	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,050
長期借入金の返済による支出	△570
自己株式の取得による支出	△1
配当金の支払額	△192
財務活動によるキャッシュ・フロー	286
現金及び現金同等物に係る換算差額	△107
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△515
現金及び現金同等物の期首残高	3,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,040

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

	酸化チタン 関連事業 (百万円)	その他 化学品事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	4,999	3,380	444	8,824	—	8,824
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	242	882	408	1,533	(1,533)	—
計	5,242	4,263	853	10,358	(1,533)	8,824
営業利益	158	366	0	525	11	536

(注) 1 事業の区分は内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分に属する主な製品は次のとおりであります。

- (1) 酸化チタン関連事業……………酸化チタン、微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛、表面処理製品、光触媒用酸化チタン等
- (2) その他化学品事業……………界面活性剤、硫酸、低分子量芳香族スルホン酸、無公害防錆顔料、導電性高分子酸化重合剤、電池セパレータ等
- (3) その他事業……………倉庫業及びエレクトロ・セラミックス製造販売

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
	金額
I 売上高	8,201
II 売上原価	6,328
売上総利益	1,873
III 販売費及び一般管理費	1,146
営業利益	727
IV 営業外収益	
1 受取利息及び配当金	83
2 その他	22
営業外収益合計	105
V 営業外費用	
1 支払利息	40
2 その他	20
営業外費用合計	61
経常利益	771
VI 特別利益	1
VII 特別損失	9
税金等調整前 四半期(当期)純利益	763
税金費用	286
少数株主利益	2
四半期(当期)純利益	474



(2) 事業の種類別セグメント情報

前年同四半期（平成20年3月期第1四半期）

(単位：百万円)

	酸化チタン関連 事業	その他化学品 事業	その他 事業	計	消去又は全社	連結
売上高	5,205	3,637	888	9,731	(1,529)	8,201
営業費用	4,643	3,531	834	9,009	(1,534)	7,474
営業利益	562	105	54	722	4	727